



## 平成18年度第2回研修会報告

平成18年11月10日（金曜日）の午後、千葉市生涯学習センター研修室を会場に、34名の参加を得て今年度第2回研修会を開催しました。

講演終了後、全員で生涯学習センターアトリウムで実施中の加盟館紹介展の見学をし、希望者には生涯学習センターと千葉市中央図書館の施設見学を実施しました。

日程・内容は下記のとおりです。

- 講演会 午後2時30分～4時00分
  - ・ 講師 ビジネス支援図書館推進協議会顧問（元会長）  
竹内 利明 氏  
（国立大学法人電気通信大学 産学官等連携推進本部特任教授）
  - ・ テーマ 「図書館におけるビジネス支援サービスの現状と展望」
- 加盟館紹介展見学 午後4時10分～

## 第2回研修会参加報告

### 『図書館における ビジネス支援サービスの現状と展望』

電気通信大学特任教授 竹内 利明 氏

はじめに

平成18年11月10日、千葉市生涯学習センター研修室において千葉市図書館情報ネットワーク協議会主催の第2回研修会が行われた。

『図書館におけるビジネス支援の現状と課題』と題して、電気通信大学産学官等連携本部特任教授の竹内利明氏の講演であった。

講師は、ビジネス支援図書館推進協議会の元会長（現在は顧問）で、今、図書館界で徐々に広まりつつある「ビジネス支援サービス」の火付け役である。



《電気通信大学特任教授 竹内利明 氏》

中小企業論、起業家教育論の専門家で、中小企業庁や経済産業省とのつながりも強い。図書館の専門家ではないが、早くから図書館の有効性を見抜き、起業家育成や仕事支援のための情報源として機能させることを訴え続けてきている。ここでは、講演内容の概要を紹介したい。

### 1 日本経済の構造転換と知価社会の到来

日本は、戦後、欧米に追いつき追い越せという目標のもと、欧米の技術を模倣しながら経済発展を遂げてきた（キャッチアップ経済）。しかし、その目標が達成され、フロントランナーになった日本は、自らの力で知識、技術を身につけなければ経済発展が達成し得ない状況下にある。このフロントランナー経済を実現するためには、豊かな創造性が必要であり、日本経済の発展には“知価社会”の構築が不可欠である。

### 2 地域活性化の情報源としての図書館

日本経済発展の基盤は地域の活性化にあり、地域経済の担い手である起業及び中小企業育成をより活発化させる必要がある。しかし、いまの日本では、創業予定者や中小企業が知価社会に対応した企業経営に不可欠な情報を入手する環境が整っているとは言いがたい。そのようなときに公共図書館が起業情報や経営情報を積極的に集め、それを提供することの意義は大きい。地域の活性化は、商工・産業政策部門が基本的に担当することになるが、地域住民にとって敷居が低く、親しみのある図書館と連携して情報提供を行うことは、利用者だけでなく、商工・産業政策部門関係者にとっても大きなメリットがある。

### 3 図書館のビジネス支援に対する国の動き

「ビジネス支援図書館」については、国レベルでも関心は高い。2003年の骨太方針（「経済財政運営の構造改革に関する基本方針2003」）の中に“ビジネス支援図書館の整備等により”という文言が入った。閣議決定された政府方針に盛り込まれた意義は大きく、その後、文部科学省の「ディスカバー図書館2004」や「これからの図書館像」にも反映され、経済産業省や中小企業庁でも支援の動きがでてきている。



《研修会会場の様子①》



《研修会会場の様子②》

### 4 公共図書館での取り組み

ビジネス支援図書館推進協議会では、2006年に公共図書館におけるビジネス支援への取り組みに関するアンケート調査を行った。その結果、全国で120館以上の図書館で何らかの形でビジネス支援サービスに取り組んでいる。現在計画中の図書館もあり、ここ数年で急速に増え続けている。全国の図書館を見て歩き、かつ自治体の首長と懇談することもあるが、ビジネス支援に対する反応は良く、公共図書館の存在意義を再確認してもらえる場合もある。

### 5 ビジネス支援図書館推進協議会について

ビジネス支援図書館推進協議会は、2000年12月に設立し、現在会員が約180名となっている。これまで経済産業省と連携して2回のシンポジウムを行い、今年は、図書館総合展において「ビジネス支援フォーラム」を企画している。また、中小企業診断士による図書館を拠点とした相談会のコーディネートや次回で5回目となる「ビジネス・ライブラリアン講習会」を開催しビジネス支援に対応できる図書館員の育成にも取り組んでいる。

詳しくはホームページ ([www.business-library.jp](http://www.business-library.jp)) を見てもらいたい。

おわりに

地域に根ざした多様なビジネス支援サービスが生まれてきており、図書館が地域の情報化拠点として情報を収集し、編集し、提供していくことで、地域固有の情報創出の拠点にも成りえる。公共図書館はそのようなシステムの核になる可能性を秘めているのである。

( 文責：千葉経済大学短期大学部 斎藤 誠一 )

## 加 盟 館 紹 介 展 実 施 報 告

### 事 務 局

「千葉市図書館情報ネットワーク協議会」について、市民への周知を図ると共に、各加盟館を紹介して市民の利用に供することを目的に、11月1日(水)～11月12日(日)の期間、加盟館紹介展を実施しました。会場は生涯学習センターのアトリウムで、各加盟館がそれぞれパネル1面を使用して自館の紹介をしました。立ち止まってじっくり見学する方も多く、「市内にこういう図書館があるんですね。」「一般市民が大学図書館を利用したり、本を借りることもできるんですね。知りませんでした。」などの感想が聞こえました。



O V T A図書館・放射線医学総合研究所  
図書館・神田外語大学附属図書館



敬愛大学メディアセンター・淑徳大学  
附属図書館・千葉経済大学総合図書館



県立中央図書館・市議会図書室・  
市教育センター図書資料室



市美術館美術図書室・市中央図書館  
千葉市図書館利用案内



市みやこ図書館・市花見川図書館・  
市稲毛図書館



市若葉図書館・市緑図書館・  
市美浜図書館



千葉大学附属図書館・千葉明德短期大学  
図書館・東京歯科大学図書館



東京情報大学情報サービスセンター・  
メディア教育開発センター情報資料室  
・放送大学附属図書館



アジア研究所図書館・植草学園短期大学  
図書館・生涯学習センター調査資料室



《ネットワーク協議会の概要説明 他》



《加盟館紹介展実施の様子》



《第2回研修会での見学の様子》

## 加盟館だより

### 千葉県立中央図書館

### 『千葉県立図書館電算システムのリニューアル』

千葉県立中央図書館 三浦 章 宏

千葉県立図書館（中央、西部、東部）では、平成19年2月1日から、県立3館の電算システムを中央図書館に統合し、新たな図書館サービスを開始しました。

同時に、ホームページもリニューアルし、県立図書館所蔵資料の検索機能を充実させるとともに、新たに、インターネットで図書が予約できる「インターネット図書予約システム」、メールで資料の調査相談ができる「メールレファレンスサービス」、錦絵や絵地図、和算関係の房総数学文庫等を画像化し、インターネットで御覧いただける「電子図書館」、その他、県立図書館で作成した千葉県関係の記事索引や東総地域人名索引など各種索引類のデータベースを充実させ、図書館サービスの機能を強化しています。

また、平成13年度から実施している「千葉県内図書館横断検索システム」では、県立図書館及び県内市町村立図書館（平成18年12月末現在で26市町、県立図書館3館を含め48館）が所蔵している資料を一括検索できますし、県内市町村立図書館等の逐次刊行物の所蔵状況も「新聞・雑誌総合目録検索」で確認いただけますので、一度、県立図書館ホームページを御覧いただき、資料の所在調査や研究等に御活用ください。

千葉県立図書館のホームページのアドレスが変わりました。

新しいホームページアドレス (URL) は「<http://www.library.pref.chiba.lg.jp>」

Network通信 No. 24  
2007年2月8日  
発行：千葉市図書館情報ネットワーク協議会

事務局：千葉市中央図書館内  
〒260-0045 千葉市中央区弁天3-7-7  
Tel 043-287-4081 Fax 043-287-4074